

# 広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和2年2月20日発行

No.133



(寺下 まゆ玉)

## 「まゆ玉の ことしの運の しだれける」

久保田万太郎(1889～1963)

文学座の創設に尽力したことで知られる久保田は、俳人でもありました。なんとも縁起の良い一句です。

小笠原 美雪

# 下町 旧田原家・桜井家修景工事について 令和元年度空き家対策改修工事

理事長 藤原 義 則

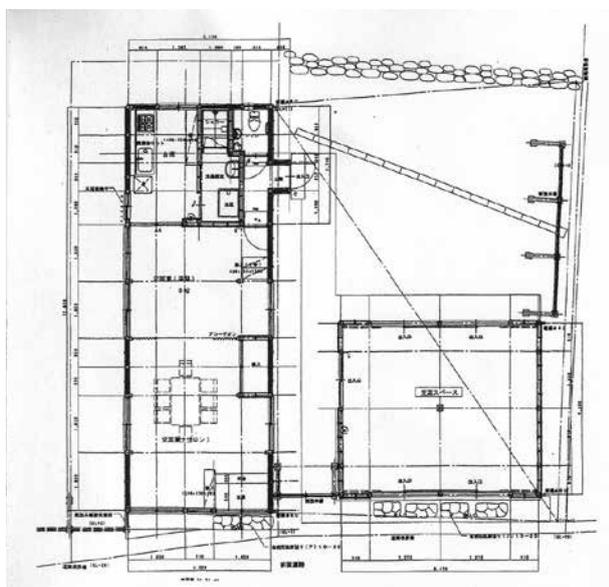
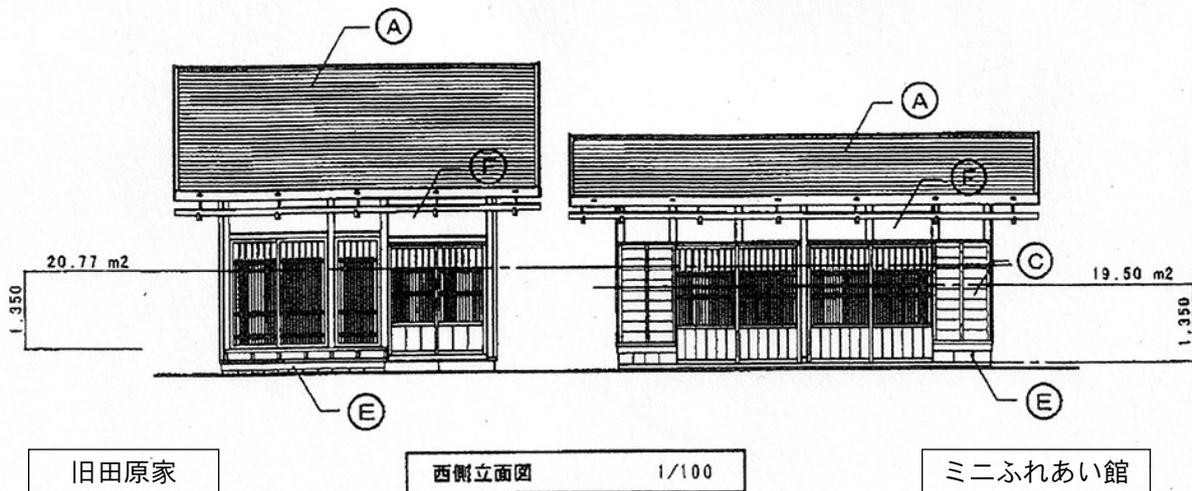
愛会が平成26年度に寄付を受けた、旧田原家と町が所有している旧桜井家を、町が国の「空き家対策補助事業」の支援を受け改修工事を行っていますので、状況について報告します。

旧田原家は、所有者より寄付の申し入れがあり町と愛会とが協議のうえ、愛会が寄付を受けたものです。また、旧桜井家は町が寄付を受け、それぞれ利活用を検討していたところですが、本年度に入り、国の補助事業を活用して町並みにあった修景をする運びとなりました。両家とも空き家になってから時間が経過しており、老朽化が進み、このままでは危険家屋となり、瓦の落下・1階の床抜け等倒壊の恐れもありました。

旧田原家は、2階づくりを1階に改修して内部はワンフロアにて地域でのミニ集会、サロン風に利用できる構造になります。旧桜井家は、解体してミニふれあい館的なオープンスペースの施設になります。裏の空きスペースは芝生にして野外でのイベントに利用できるスペースになれば利用範囲が広がります。

地区などの行事、観光客へのおもてなし対応に使用できます。旧田原家のトイレは洋式です。共用となります。下町・恋野地区には観光客が利用できる公衆トイレがありませんので、外からの利用が可能となります。

外観ですが、周囲の景観に溶け込み一体感が保てることも重要ですので十分配慮しました。3月末には完成する計画で工事が進んでいます。内部調度品についてはこれからの計画です。



平面図



〈工事中 2月初旬〉

## 阿寺溪谷視察研修

妻籠宿案内人の会会長 野田 覚

妻籠宿案内人の会は年4回の勉強会を行っており、今年度の勉強会は、日本遺産木曾路の構成文化財39項目の中から、案内に役立ちそうな項目を選定しています。9月の勉強会では、近過ぎて行かないが脚光を浴びて、観光客が増えている「阿寺溪谷(あてらけいこく)」を取り上げ、視察研修をすることも決めました。

晩秋の好天に恵まれた11月8日に、参加者8名が見学コースの真中当たりの島木赤彦の歌碑前駐車場で、大桑村の女性ガイドと待ち合わせをしました。案内は遊歩道コースから始まり、赤彦吊り橋を渡り、草花や木の説明を受けながら、かなわぬ恋仲になり駆け落ちして住み着き、毒キノコに当たって亡くなった、悲しみのうなり声が聞こえる伝説の場、うなり島に立ち寄り高野槇の群生を見ました。車道からの見学コースに戻り、林鉄のレールを再利用したガードレールがある下り道を歩きながら「六段の滝」「里帰りハナノキ」「樽が沢の滝」、犬が通るのも嫌がった断崖絶壁の「犬帰りの淵」「亀石」、上手に化けたか化け具合を川面に映して見た「狸が淵」「狐が淵」どの場所からも紅葉とエメラルドグリーンが素晴らしく、案内を聞きながらのあつという間の2時間でした。

阿寺溪谷にはまだ多くの見るポイントがあり見学は、車窓から眺める、駐車場に停め少し歩く、溪谷入り口からハイキングの3方法があります。季節は、やはり紅葉の頃がベストだと思います。(夏季は、ある期間車の乗り入れ規制をしています)

百聞は一見に如かず、是非訪れて見て下さい。

**\*\* 妻籠宿の案内人を募集しています! \*\***

話好きな方、歴史に興味ある方、連絡を待っています。

【事務局(妻籠を愛する会内)】

TEL:0264-57-3513



### 今年も夜回り組活動中!

今年も1月5日から2月24日まで毎晩夜回りを17名が交代で行っています。

拍子木の音と「火の用心」の音が聞こえてきますか?火の取り扱いは十分すぎるほどに注意しましょう!

夜回り組は現在17名ですが、参加者募集中です。「私もやってみようかな」と思われる方、事務局までご連絡くださいね。

〈1月26日文化財防火デー「A E D講習」風景〉



### 東京五輪聖火リレーが妻籠宿内を走ります!

今年はいよいよ東京五輪・パラリンピックが開催されます。昨年末、聖火リレーのコースが発表されました。4月3日飯田市を走ったあと、旧妻籠小学校の校庭を出発して尾又の三差路から妻籠宿内に入ります。恋野から生活道路に入り校庭まで戻ります。その他の詳細はまだ何も知らされていませんが、とにかく宿場内を走ります。

住民皆そろって聖火ランナーを応援しましょう!こんな機会もうありませんよ。

楽しみですね。

## 第52回文化文政風俗絵巻之行列開催！ 2019年11月23日(土)

奈良市 松田 徹

奈良県奈良市の松田と申します。僭越ながら行列についてのあれやこれやを書かせていただきます。拙い文章ではございますが、どうぞお付き合いくださいませ。

参加のきっかけは、母上が大妻籠と縁のある友人からの誘いでした。そんなこんなで2006年から一度だけ不参加がありますが、今回で12回目の参加となりました。当初は貸衣装でしたが、自前で用意しようと思いつき、その友人と京都太秦映画村や奈良の土産物店をいっぱい探し回り、今日の無宿人衣装一式を揃えることができました。

長年参加していると、尾張万歳太夫の方や虚無僧の皆様、宿のご主人や地元の方々とも顔見知りになり、年に一度の再会が楽しみになってきています。そして毎回驚かされるのは、「必ず晴れる」こと。前日が雨天であっても、この日だけは晴れる！まさに晴れの特異日ですね。また近年は観光客やカメラマンの中に外国人の方が多く混じるようになっており、時代行列に参加しながら時代の流れを感じるという不思議な感覚になっております。

自由の利く時代は前泊して行列に参加、翌日にのんびり帰路についていました。しかし、だんだんと休みも取り難くなり、前日仕事終わりの夕方に出発し大移動の末、宿で素泊まり、行列参加後そのまま帰路につくという弾丸行程が常となりつつあります。

そんな中、ここ数年必ず実行しているのが、大妻籠から馬籠峠のランニング往復10kmです。くねくねといつまでも続く急坂を走ることが、とても爽やかに充実した時間になっています。

妻籠宿はいつの間にか魂の故郷になっていて、「会いたい人がいる」「やるべきことがある」と、心と身体が呼ばれている気がします。それに従い毎年仕事や時間をやりくりして、この地へやって来ているのだと思います。

来年も再来年も参加させていただきますよ。今後ともよろしくお願いたします。



京都市 川口 浩司

令和元年8月に外国人観光客を取り扱う旅行会社、奥ジャパンの中山道妻籠支店を開設させていただいてから、初めて勤労感謝の日の文化文政風俗絵巻之行列に参加した。京都本社より5名、妻籠支店より1名の計6名での参加である。私は社内用の写真撮影を担当したが、他5名も宿場の風俗を再現するためにそれぞれの役割に変身して行列に参加した。聞くところによると、過去52回、すべてこの日が晴れだったようである。この事実は、妻籠で伝統的に催されているお祭りのお天気が、ご先祖様に支援されているのではないかとさえ思えてくる。

午前10時半に開始。晴天の中、秋の一番良い季節を感じながら、老若男女一緒になって、妻籠・大妻籠まで歩く。地域の伝統を受け継ぐ子どもたちにとっても、楽しみながら毎年この行列に参加する意義は非常に大きいと思う。また、南木曾周辺からだけではなく、全国各地からの参加が可能のようで、例えば、茅ヶ崎の役所からの尺八クラブのリーダーの方は、過去30年間も続けて参加されている。ご参加の継続を敬うとともに、妻籠宿が伝統を守りながら、そんなにも前から村外の人々にもオープンであったことに驚き、全国の伝統的建造物群保存地区のお祭りの中でも、この行列は伝統と革新の両面を持ち合わせていたことを知った。

当社の会議室には、頂いた行列の写真が飾ってある。我々はまだまだ新参者であるが、30年後には、胸を張って妻籠宿の伝統を継承できる一員になりたいと思う。



## 千葉県 石山千代

妻籠宿の佇まいと住民憲章に惹きつけられて、研究で通わせていただいていた私にとって、町並み保存が着工した昭和43年11月23日に始まり、約半世紀継続しているという行列は憧れの存在でしたので、今回思い切って娘と「親子旅」として初参加させていただきました。親子で指折り数え、てるてる坊主をつくり、行列の日を待ちわびました。

当日は、お天気に恵まれほっとしたのも束の間、実際に歩き始めると、慣れない草鞋で歩く痛さと前日の雨による路面の湿気を草鞋から感じ、前途多難に思えてきましたが、沿道の美しさと観衆、行列の参加者と沢山の裏方の皆様方に励まされ、歩を進めることができました。

それにしても、あれだけの観衆にもカメラマンの攻勢にも物怖じせず、外国人には「ハロー!」と応じ、草鞋でぐんぐん歩いていく「世界の妻籠」の子供たちの逞しさには脱帽でした。そんな子供たちが大好きな飴玉などを巾着に沢山忍ばせて共に歩く母親の姿は、いつの時代も同じかもしれないな…と考へたりしながら、行列の日は、中山道を旅した当時の人々の視野と気持ちとを追体験しながら、未来を考える大切な日に思えてきました。それが可能なのは、紆余曲折ありながらも、妻籠宿の代々の皆様が「妻籠宿から展望できる周辺と旧中山道沿いの姿・形とそれにとまなう心」を大切にしてくださったからなのだあと胸が一杯になりました。

最後に、小さな妻籠ファンである娘からの感想です。「たいへんだったけど、みんないろいろなきれいな道が歩いて楽しかったです。また歩きたいです。」



大妻籠へと歩く山道は紅葉がこの秋最高の見ごろでした！



# 2020年新春狼煙あげ

# 2020.1.4(土)

大桑村商工観光係 振田 勇 希

大桑村では今年も、3地区で狼煙揚げが行われました。

村長、観光協会長を乗せて向かうと弓矢地区平和の塔ではすでに狼煙を揚げる準備が済み、餅などを焼きながら盛り上がっていました。開始時間、平和の鐘の合図で一斉に松の木を狼煙台に放り込むと、快晴の空に勢いよく狼煙が揚がり始めました。同時に木曽川対岸の殿地区を見ると、狼煙が確認できました。

殿地区では、白山神社と今年の恵方に向かいそれぞれに一礼をしてから狼煙を揚げます。ここでは毎年美味しい豚汁が振る舞われ、体を温めながら皆さんと新年の挨拶を交わし、村内最後の和村地区に向かいました。

和村地区の狼煙揚げの場所からは中央アルプスが非常に綺麗に見えます。例年ここでは他の狼煙が確認できなかったのですが、今年は弓矢地区の狼煙が見えたと盛り上がっていました。

2回目の参加となった今年は、昨年より狼煙揚げの雰囲気を楽しめました。それぞれの地区で撮影した記念写真では、今年も皆さんの良い顔が撮れました。



上から  
大桑村  
木曽町  
奈良井城跡

十二兼集落中山道史跡等を保存する会 会長

濟 藤 克 仁

木曽地域の一体感を高めようとして始まった「木曽谷をつなぐ新春狼煙あげ」、我が地区は平成19年度「木曽風景街道推進協議会」加盟を契機に新春行事の一つに位置付け区の協力の元平成22年から実施している。事情により一度は休みましたが今年で10回目となり定着してきた。

戸場地区「はなもも会」と同時期に始めた最初の年は試行錯誤、下こぜ地籍の田んぼにドラム缶を置いてゴミを燃やす程度、中々良い煙は上がらなかった。その後ドラム缶2本を筒状に重ねたものを用いるようになり場所も変えてみた。燃えやすくなり程良い煙も上がるようになったものの用意した焚き物は直ぐ燃え尽きてしまい長持ちしない。段々と要領をつかみ、今では大量の杉やヒノキの生葉を使い、場所は設営都合と火災予防を考慮し集会所広場としている。

今年は区内の道路支障木や景観支障木を軽トラ3杯分確保し材料は十分、さらに稲藁も使ってみた。段取り良く準備整い10時30分一斉点火。多少の川風があったものの穏やかな天候に恵まれ、黙々とした立派な煙が青空に吸い込まれるように上がり狼煙は大成功。50分後巡回に見えた狼煙揚げ連絡会事務局藤原義則さん「かなり遠くからも確認できたよ」と高評価。

今後に向けて「木曽谷南から北までのリレーで」という声も聞かれる。そうなるとう我が地区では戸場⇔十二兼⇔野尻と双方確認しやすい場所の選定が課題。新たな令和時代を迎え、定着してきた「木曽谷新春風物詩(中津川市、塩尻市含む)」の煙を絶やすことなく続くように、そして初期の目的が益々深まるようお願い次第です。



〈↑十二兼・↓木祖村〉



## 宿 場 暦

- 11月3日：行列通行止め予告看板設置、勤続表彰  
(町・理事長)
- 7日：着付練習、長野朝日放送撮影
- 8日：妻籠宿案内人の会視察研修会(阿寺溪谷)
- 9日：着付練習
- 11日：信州の歴史的まちなみネットワーク運営  
委員会(松本市・理事長)
- 13日：テレビ信州撮影
- 14日：行列幟旗立て、日本遺産「木曽路」事業検  
証・検討部会(木曽町・理事長)、長野放送  
撮影
- 15日：衣装部会(行列衣装準備)  
行列第2回実行委員会
- 18日：行列衣装運び出し、三役会、テレビ朝日撮  
影(~19日)、NHK撮影(~21日)
- 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」132号発行、  
行列木戸組立
- 23日：第52回文化文政風俗絵巻之行列
- 26日：中部運輸局長来宿
- 12月2日：衣装部会(衣装整理)、南木曽町リニア中  
央新幹線対策協議会(理事長・常務)
- 3日：行列反省会、テレビ山梨撮影
- 10日：木曽狼煙連絡会(合庁・理事長)
- 16日：妻籠宿案内人の会世話人会・学習会、主要地  
方道南木曽線道路改良工事説明会(役場)
- 17日：元気づくり支援金事例発表会(合庁・理事長)
- 19日：広報部会
- 20日：統制委員会、木曽風景街道推進協議会役  
員会(木曽町・理事長)
- 21日：日本ナショナルトラスト全国大会
- 23日：三役会
- 24日：日本遺産「木曽路」事業検証・検討委員会  
(木曽町・理事長)
- 28日：案内所仕事納
- 1月 4日：新春放談会(17名)、第14回狼煙あげ  
(25か所・267名)
- 5日：夜回り開始(~2月24日)
- 13日：理事会
- 14日：繭玉作り(観協女性部)、テレビ東京撮影
- 15日：日本遺産「木曽路」事業検証・検討部会  
(木曽町・理事長)
- 17日：案内人の会新年会
- 20日：統制委員会
- 23日：広報部会

- 26日：文化財防火デー(53名参加)
- 28日：木曽地域ガイド研修会(木曽町)

- 2月 1日：第44回妻籠冬期大学講座開講  
(57名参加)

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめま  
しょう!

## 統制委員会審議事項

- 11月20日
- ・通信ケーブル架設(橋場) 1件
  - ・群状択伐(関電) 2件
  - ・マンホール蓋交換工事(町:下町) 1件
  - ・目隠し塀設置(教委:下町桜井家) 1件
  - ・注意喚起看板設置(教委:大妻籠) 1件
- 12月20日
- ・仮設現場事務所設置(名工土木:下り谷) 1件
  - ・店舗併用住宅の増設(下町) 1件
  - ・町営第2駐車場管理棟整備(町) 1件
  - ・旧JA木曽妻籠購買店内装整備(町) 1件
  - ・その他「電力供給対策工事」工期延長
- 1月20日
- ・無線機・フェンス設置工事(KDDI:上在郷) 1件
  - ・新門標の設置(関電:尾又) 1件
  - ・群状択伐(関電:妻籠橋付近) 1件
  - ・塀修繕(第2駐車場:愛会) 1件
  - ・支障木伐採工事(県:第1P下国道沿) 1件



〈妻籠城山城址から望む愛宕山方面〉

発行:公益財団法人妻籠を愛する会  
〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2  
TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

## しめ縄講習会

上在郷 中野政幸

12月15日、日曜日の午後からしめ縄づくりの講習会が妻籠分館ホールにて行われました。

昨年初めて参加させてもらい、今年で2回目。昨年は軽トラの荷台で藁の選別作業を行いました。今年は少し遅れて到着したため、既に選別され綺麗になった材料が、ホールに広げられた大きなブルーシートに準備されていました。遅刻をしたばかりに他の参加者の方々に手間をかけさせて申し訳ない思いです。

開会の挨拶のあと、講師の加藤さんの手ほどきを受けながら、自分で使用する分の材料を手元に置き、いざ作業開始。ところが、縄を縛う方法もわからず、考えてみれば子どもの頃遊びで編んだことがある程度。右巻き、左巻きがあることすら知らなかった自分。こんなことで神様に供える縁起物というか神聖な物を…。

とりあえず気分を変え、右でも左でも自分で心を入れれば神様は許して下さる?と思い、いざ開始。ところが、ベテランの人は大きく立派なしめ縄を2本3本と手早く仕上げていました。自分の作品は巻りが片寄った縄がまだ1mくらいしかできませんでした。1年に1回では上手くなるわけですね。自宅で練習して皆に負けない作品を完成させるのが夢です。

主催者の皆様、ありがとうございました。



## 繭玉づくり

大妻籠 伊藤由美

1月14日、すっかり恒例となった女性部の繭玉づくりが行われました。昨年からの役員負担を減らそうと恒例行事を各地区で分担するようになり、繭玉づくりの段取りは橋場・大妻籠の担当です。終了後の新年会の手配などは大妻籠の連絡員が事務局と連絡をとりながらやってくれます。ピンカや竹を切ったり繭玉を蒸したり、女性部以外の方にも協力してもらっています。

ピンカにさす繭玉は当日皆で作りますが、竹に飾る餅花は作っている家がないという事で当初から我が家で作っています。小正月用に搗く餅ですがこのごろでは女性部の日程に合わせて前日に餅つきをしています。我が家は今でも手搗きです。まずは白い餅、次に豆餅、そして餅花用、これはほぼ搗きあがったころに小さく切って硬くならないようにするため、生の里芋をすって入れしっかりと搗きあげます。1/3程は食紅を入れほのかなピンク色も作ります。最後は草餅、春に摘んで冷凍しておいたヨモギをたっぷり入れます。4臼搗くのに搗き手は娘や孫の応援があるのですが手返しは熱くて無理!と言ってやってくれません。今回は最後の草餅を搗き始めたところに長女が帰って来て代わってくれたので、ふう…。4臼搗きあがりしました。夕食後一休みした後、明日に間に合うように小さく切ります。主人が餅切機で細く切ってくれ私はこたつで小さく切ります。これがなかなか手間がかかります。枝の先に一つずつねじりをつけるので参加人数分とふれあい館用など余分に用意します。くっつかないように切っては粉をつけながらバラバラにして餅花の準備完了。

当日は手慣れたもので、どんどん作業が進み今後のことなどを話し合う時間もできました。今年最初の伝統行事を終え、それぞれの作った繭玉と餅花が軒先を飾り、寒い中、足を運んでくれるお客様をやさしくお迎えします。

